



キビキビ ニコニコ ハキハキ

No.7



利尻町立沓形小学校 学校だより

発行日：令和8年9月28日（月）
 発行者：利尻町立沓形小学校
 責任者：校長 畑 慎司
 Tel:84-2055 Fax:84-2699

【保護者】

「保護者アンケートを受けた」
 13項目すべてで高い評価をいただき、ありがとうございます。
 一方、高学年で相談や継続に課題が見られました。
 後期は安心して話せる場を増やし学び合いを生かした
 授業づくりと、学校の様子のまなな発信に努めます。

項目	満足	不満
1. お子さんは学校へ行くのを楽しみにしていると思う。 (平均3.47/肯定91.2%)	35%	56%
3. 子どもは、自分の考えを先生やともだちに安心して伝えられていると思う。 (平均3.12/肯定88.2%)	65%	24%
5. 学校は、子どもが自分で考え・決め・挑戦できる授業づくりに取り組んでいると思う。 (平均3.47/肯定100.0%)	53%	47%
7. 学校は、ともだちと協力・交流しながら学ぶ場を設けていると思う。 (平均3.59/肯定100.0%)	41%	59%
8. 子どもは、ともだちと考えを出し合い、多様な考えを受け止める力が育っていると思う。 (平均3.44/肯定97.1%)	50%	47%
10. 子どもは、将来に夢や希望を持っていると思う。 (平均3.35/肯定91.2%)	47%	44%
12. 学校の学力向上の取り組みについての成果や改善策、教育活動の様子がよくわかる。 (平均3.11/肯定84.2%)	45%	40%

【児童】

「児童アンケートを受けた」
 英語や友達との交流、将来の夢に高い関心が並びました。
 一方、高学年で相談や継続に課題が見られました。
 期は話やすい場を設け、強みのある学び合いを各教科
 に生かし、こころを表現できる授業を進めます。

項目	満足	不満
1. 学校に来るのは楽しんだ。 (平均3.24/肯定85.7%)	44%	41%
2. 悩みごとや困ったことを、先生に相談している。 (平均2.98/肯定71.4%)	21%	37%
4. 国語の勉強は好きだ。 (平均3.10/肯定77.8%)	19%	43%
6. 算数の勉強は好きだ。 (平均2.95/肯定68.3%)	21%	30%
9. できるかどうか分からないことにも、進んで挑戦している。 (平均3.48/肯定95.2%)	43%	52%
14. 授業や行事で、友達と一緒に考えた交流したりするのは楽しい。 (平均3.63/肯定96.8%)	29%	68%
17. 将来に夢や希望を持っている。 (平均3.63/肯定90.5%)		81%

緑の羽根募金

122,395円もの募金をいただきました。

先日、緑の羽根募金の取組を行いました。子どもたちが各ご家庭を訪問して募金を呼びかけたところ、温かく迎えていただき、たくさんのご協力をいただきました。かけていただいた励ましの言葉が、子どもたちにとって何よりの力になったようです。心より感謝申し上げます。

お預かりした募金は、受け渡し式で利尻町役場建設課の皆様にお渡ししました。中川課長さんからは「森を大切にすることは、海を大切にすること。それが、利尻を守る活動につながります。みなさんの力は、しっかりと利尻の役に立っているんですよ」とお話をいただきました。山の緑と海の恵みのつながりに、子どもたちは真剣に聞き入っていました。ご協力、本当にありがとうございました。



合同宿泊研修に行ってきました。




9月10日・11日の2日間、5年生が仙志志小学校の5年生1名とともに、市内市で合同宿泊研修を行いました。

初日は稚内市少年自然の家で火おこしとカレー作りに挑戦。温泉にも入り、笑い声の絶えない夜となりました。2日目は科学館や水族館、相沢食料百貨店、うろこ市、稚内地方気象台、フェリーの船内など、多くの施設を見学し、学びを深めました。

2日間の集団生活を通じ、時間を守ることや友達との関わり方など、今後の生活につながる学びを深めた子ども達。今後の学校生活での成長が楽しみです。

SUPPORTERS INTERVIEW_RELAY_14

お話聞かせて下さい！

Q. 渡邊さんについて教えてください。

A. 千歳出身で、高校は札幌の工業高校に進学しました。学校から帰るとすぐに友達と公園で遊ぶ、外遊びが好きな子どもでした。親は建設業を営んでいましたが、親戚に漁師がいて、その姿を「カッコいい」と思ったのが最初のきっかけです。海の見えない千歳で育ったので、日本海へのあこがれがありました。高校生のときは、ここには書けないレベルで遊んでいました(笑)が、その後、大学を経て建材店、パッティングセンター、カー用品店など、さまざまな仕事を経験しました。

Q. お仕事について教えてください。

A. 24歳で島に来ました。本当にやりたいことは何だろうと考える日々の中で、「やりたいことをやろう!」と思い立ち、漁業就業者フェアで、あこがれの漁師の仕事を紹介されたのがきっかけです。それから18年、根付漁師(磯まわりの魚介類や海藻をとる漁師)をしながら、ノースフラッグーズの活動にも賛同して、小坂さんたちと一緒に活動しています。

漁師は、努力した分だけ自分に返ってくる仕事です。同じ作業の繰り返しは大変ですが、海と向き合うこと、この海を後世に残していくこと、漁師の立場から海の魅力を発信することに、働きがいを感じています。

Q. 今後の夢と、子どもたちへのメッセージを。

A. 講演や講話などを通じて、利尻の漁業を島外にも伝えていきたいです。子どもたちには、諦めずに自分の夢にチャレンジし続けてほしいですね。失敗しても、挑戦したことが成功。成功したら大成功。やらなかったら何も始まりません。やりたいことをやってください。そして、できれば魅力的な仕事である「漁師」になってほしいですね!

漁師・ノースフラッグーズ 渡邊 大樹さん



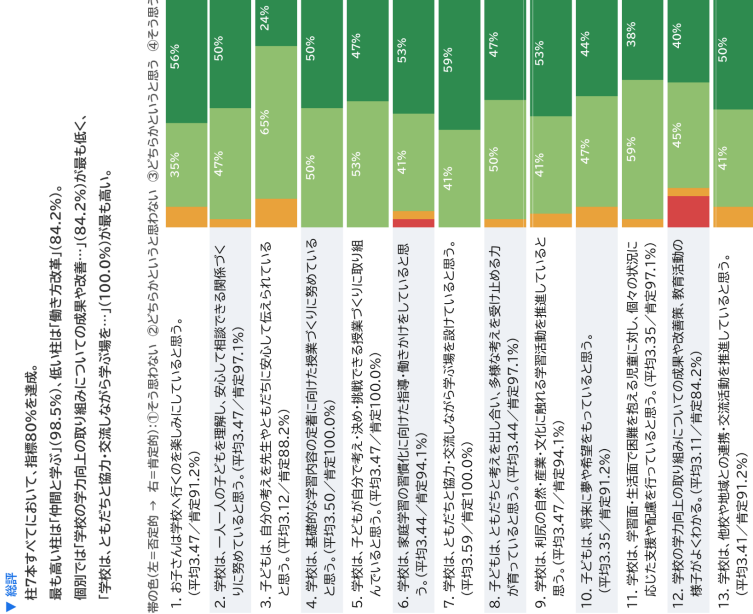
同じ漁師の小坂さんからご紹介を受けました渡邊さん。ホテル利尻で観光客に語る「漁師の夜会」が好評とのこと。小学卒業時に担任からもらった手紙(人としての大切な心構えについて)を大切に持ち続け、今も心掛けておられるそうです。素敵ですね。

10月の予定			行事予定(児童・PTA)
日	曜		
1	木	特②	
2	金	1日防災学校・避難訓練	
3	土		
4	日		
5	月	特② 児童会① 教育相談週間	
6	火	ALT(AM) 利尻高校インターンシップ 全校合唱練習	
7	水		
8	木	4年生以上特別日課② 児童会会議	
9	金		
10	土		
11	日		
12	月	スポーツの日	
13	火	机上芸芸会	
14	水	特② 児童会会議 総練習前日準備	
15	木	総練習	
16	金	特② 学芸会前日準備	
17	土		
18	日	学芸会 1年生学級レク(午後)	
19	月	学芸会の振替休業日	
20	火	視力検査(6年生) 巡回児童相談 定例職員会議	
21	水	特② 知能検査(1年) 利尻学(3・4h) 視力検査(5年生)	
22	木	特② 個人面談① ALT 視力検査(4年生)	
23	金	沓形小学校開校記念日	
24	土		
25	日		
26	月	特② 個人面談② 視力検査(3年生)	
27	火	特② 個人面談③ ALT(AM) 視力検査(2年生)	
28	水	特② 個人面談④ 小小交流(中) 視力検査(1年生) 福祉に関する講座(5・6年)	
29	木	ALT 英検ESG(6年)	
30	金	午前授業日(島研大会のため)	
31	土		

令和8年度 学校評価 結果のお知らせ

利尻立上形小学校
アンケートへのご協力ありがとうございました。結果を下記のとおりお知らせします。
各設問は「そう思わない〜そう思う」の4段階で、棒グラフはその割合を表します。

【保護者】 回答 54 件 / 全体の肯定的評価 94.2%(平均 3.40)



【児童】 回答 63 件 / 全体の肯定的評価 87.8%(平均 3.36)



学校としてのまとめ【保護者アンケートを受けて】

いただいた評価から

- ◆ 13項目のすべてで高い評価をいただき、「そう思わない」というご回答はほとんどありませんでした。日ごろの本校の教育活動にご理解ご信頼をいただいていることに、感謝申し上げます。
- ◆ 特に「基礎的な学習内容の定着」「友達と協力・交流しながら学ぶ場」については、たいへん高い評価をいただきました。
- ◆ これから力を入れること
- ◆ 学校の様子をごまめにお伝えします——「子どもは自分の考えを安心して伝えられていると思う」は、いただいた評価の中で最も低い結果でした。一方で、子どもたち自身の回答では9割以上が「伝えられている」と答えています。学校の様子で十分に伝えできていなかったことが、ご心配につながっていたのだと受け止めております。学校通信や学校だより・ホームページを通じて、子どもたちの生き生きとした姿を、これまで以上にこまめにお伝えしてまいります。
- ◆ 高学年への手立て——アンケートの結果を学年ごとに見ますと、低学年に比べて高学年で数値が下がる傾向が見られました。特に「困ったことを先生に相談する」「あきらめずに続ける」といった項目です。後期は、高学年の子どもたちも安心して話せる時間と場を意図的に作り、担任だけでなく多くの職員が関わる体制を整えてまいります。

- ◆ 「わかる」から「好き」へ——学習面では、算数や国語について「わかる」と感じている子は多い一方、「好き」と答えた子は多くありませんでした。本校の子どもたちは友達と学び合うことをとても楽しんでいますが、その力を各教科の授業にも生かし、「わかった」「できるようになった」と実感できる授業づくりを進めます。ご家庭でも、お子さんのがんばりを一緒に認めていただけたら幸いです。

今後皆様のご意見を伺いながら、よりよい学校づくりに努めてまいります。

学校としてのまとめ【児童アンケートを受けて】

子どもたちの姿から見えたよさ

- ◆ 「英語が好き」「友達と考える交流するのは楽しい」「将来に夢や希望をもっている」が上位に並びました。
- ◆ 「なるほど」と自分の考えが変わる経験や、ちがう考えを受け止めようとする姿も増えています。
- ◆ 利尻の自然や仕事に触れる活動を、多くの子が楽しみにしています。
- ◆ 何より、友達と学び合う力が低学年までほとんど変わらず高いことは、本校の大きな強みです。

これから力を入れること

- ◆ 学年が上がるほど数値が下がる傾向が見られました。特に「先生に相談している」「うまくいかないうちに別の方法を試す」で差が大きくなっています。低学年のうちにもっている前向きな気持ちを高学年でも持ち続けられるようにすることが、後期の課題です。
- ◆ 相談しやすい環境づくり——高学年になるほど、担任だけではなくきけない部分があります。話しやすい場を意図的に作り、専科や支援員、他学年の職員とも関わる機会を増やしていきます。
- ◆ 「わかる」から「好き」へ——算数や国語は「よくわかる」に比べて「好きだ」が低い結果でした。強みである学び合う力を各教科の授業に生かし、ペアで説明し合う場面をつくります。ふり返りでは「できるよになったこと」を子ども自身の言葉で話し、掲示や通信で見えるようにしていきます。漢字などの学習は、短い時間でくり返し楽しく取り組める形に工夫します。
- ◆ 家庭学習は、低学年・高学年に共通する課題でした。一律の指導ではなく、必要な子に計画の立て方を個別に伝えていきます。
- ◆ 将来への夢は全体では高い結果でしたが、そう思えない子もおり、いずれも高学年でした。利用学などを通じて、一人一人に寄り添う場面をつくっていきます。

子どもたちが安心して学び、困ったときには話せる学校をつくってまいります。